

5月も高温で経過する見込み

適期移植ときめ細かい水管理で初期生育確保を！
一発除草剤使用前の水交換で土壌還元（田ワキ）を予防！

1 今後の気象予報（仙台管区气象台 5/2 発表）

東北地方日本海側：向こう1か月（5/4～6/3）は暖かい空気が流れ込みやすいため、引き続き気温は高くなる見込みです。向こう1か月の降水量は平年並か多いでしょう。

2 本田初期の管理

○田植え

- ・移植適期は **5/10～15頃**（気温が15℃、水温が12～13℃を超えて安定する頃）です。
- ・移植は、「つや姫」で5/20、「雪若丸」で5/25までには終わるようにしましょう。
なお、低温や強風の日を避けて、天気の良い日を選んで行いましょう。



今年は育苗期間中、高温で経過しており、苗の生育は全般に早まっています。移植適期の稚苗の苗姿は、葉齢2.5葉頃・苗丈12cmです。苗の生育状況を確認し、適期内での早めの移植を心がけましょう。

- ・栽植密度は **70株/坪、株当たり4～5本、植付深3cm**を目安に行いましょう。
※極端な疎植栽培や深植えは、茎数不足につながるのを避けましょう。

○田植え後の水管理

移植直後：**4～5cm**（風から苗を保護し、苗の消耗を防ぎ、新根の発生を促す。）

活着後：**2～3cm**（浅水管理で水温を高めるとともに、夕方又は早朝に入水して水温の日較差をつけ、分けつ発生を促進する。）

※強風や低温時は深水管理とし、稲体を保護しましょう。

3 除草剤の効果的な使用

- ・剤型に応じた水深を確保しましょう。

粒剤、フロアブル剤：**3～5cm** ジャンボ剤：**5～6cm**

※田面が露出すると除草剤の拡散が不十分になり、除草効果が劣ります。

- ・使用適期から外れると、稲に薬害が生じたり、除草効果が劣る恐れがあります。また、気温が高いと雑草の生育も一気に進みます。雑草の発生状況を確認し、定められた使用時期を守り、遅れずに散布しましょう。

4 メリハリをつけた水管理でワキ対策・丁寧な除草を！

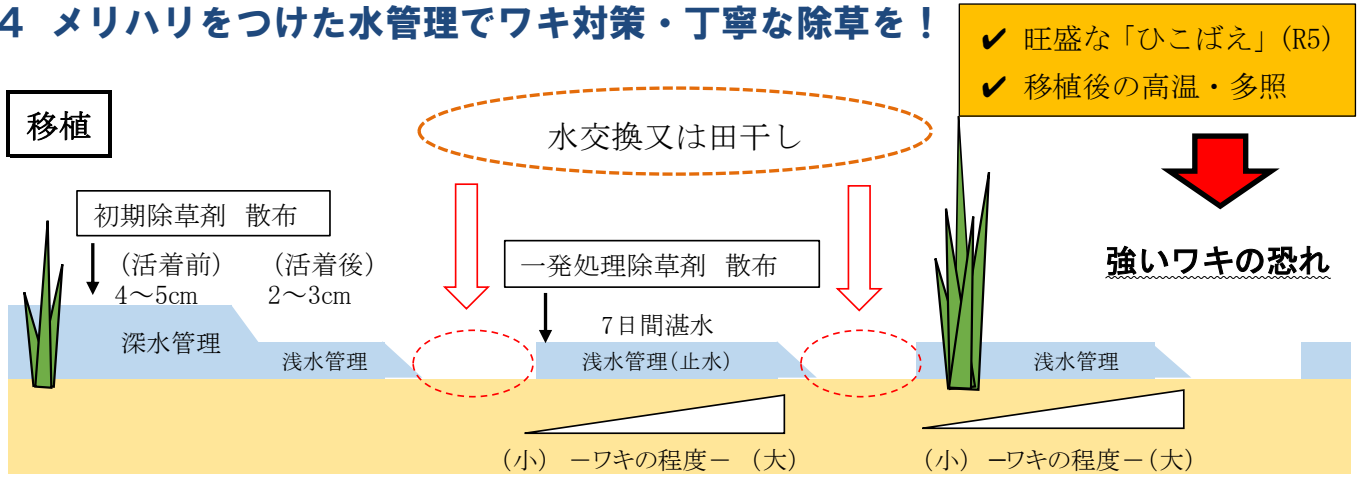


図 移植後の水管理と除草剤散布のタイミング

- ・ 土壌還元（田ワキ）は湛水条件下で発生し、高温・多照により助長されます。例年、5月下旬～6月上旬頃は好天で推移する傾向にあるため、ワキの程度が強まります。今年は特に、例年より多い「ひこばえ」が土中にすき込まれたため、強いワキの発生が懸念されます。

【管理ポイント】

- ☑一発処理除草剤 使用前：水交換を必ず行い、ワキを解消してから使用しましょう。
- ☑一発処理除草剤 使用后：7日間は止水とし、除草効果を高めましょう。
- ☑一発処理除草剤使用后（止水後）は、田ワキ対策のため上図および下表を参考に水交換・夜間落水・田干しを1回以上行い、分けつの発生と根の健全化を図りましょう。

表 分けつ初期～中期のワキの程度と対策

ワキの程度		生育への影響	対策	
微 ↓	水田に足を踏み込むと	わずかに気泡の発生が見られる	- (なし)	
		気泡の発生が多い	根の活力低下	水交換
		盛んに気泡が発生する	根張り不良	夜間落水、田干し
甚	晴天時、自然に気泡が発生し、音が聞こえる	根の伸長阻害、地上部黄化	田干し	

作物の管理、農作業事故防止の参考に「高温アラート」をご活用ください！

【高温アラート 利用方法】

- ① 「やまがたアグリネット」へ会員登録（無料）
- ② 「やまがたアグリネット」トップページ
→ 「農作業アラート」ページ
→ 「高温アラート」ページ で簡単な設定
- ③ 選択したアメダス地点（酒田、浜中など）の気温が、設定した温度を上回ると、メールが届きます。



STOP ! 農作業事故
春季農作業事故防止運動強化期間 4/10～6/10